

<<<今号の目次>>>

1. 取組紹介

「イクボスの育成とその成果」

2. 最新情報

《お知らせ》 2件

《地方公共団体等の動き》 9件

■□■ 1. 取組紹介



「イクボスの育成とその成果」

今号では、多様な人材の活躍が必要と考え、早期からダイバーシティ推進に取り組まれてきた大塚製薬株式会社の取組を御紹介いたします。

【会社情報】

- ・会社名：大塚製薬株式会社
- ・事業内容：医薬品・臨床検査・医療機器・食料品・化粧品の製造、製造販売、販売、輸出ならびに輸入
- ・本社所在地：東京都千代田区神田司町 2-9
- ・社員数：5,657名（2020年12月31日現在）

大塚製薬では、ダイバーシティという概念が浸透していなかった1980年代から、企業の成長の原動力となる革新的な製品やアイデアを生み出すためには、国籍、人種、年齢、性別、障がい、性的指向などの垣根を越えた多様な人材の活躍が必要と考え、経営トップ自らダイバーシティを積極的に推進してきました。多様な社員のキャリア継続のため、育児や介護に関する制度などを充実させているほか、モチベーションの維持・向上のための様々な施策を行ってきました。

そのような施策の上で、現在力を入れているのはイクボスの育成です。

現在では育児、介護に限らず多様な理由で制約がある社員が増えており、従来のような一律のマネジメントでは通用しなくなっています。

そのため、全管理職向けのセミナーを継続的に実施し、「仕事もプライベートも充実させ、

かつ組織の目標に強い責任感を持ち、部下や次世代を育成するのがイクボスである」との認識の必要性を伝え、経営トップからも「今後の会社にとってイクボスは重要」というメッセージをだすことで、管理職の意識の変化が見られてきています。(セミナー受講者に対するアンケート結果：時間の使い方の重要性を実感した、ワーク・ライフ・バランスの重要性の理解が上がった、実行できることからすぐ始めた等々)。

女性社員の働き方も変化している中、最近の顕著な成果として、男性社員の育児休業取得者の増加があげられます。もともと若手男性社員は育児参加に意欲的なものの、上司が育児休業取得に積極的でなく取得に至らない社員も多数いましたが、会社が推奨していることを知り取得する社員が増え、男性育児休業取得率は3.7% (2016年) →45.6% (2019年) と大幅に増加しています。

今後も様々な施策を行い、ダイバーシティ推進に努めてまいります。

■育児休業を取得した男性社員の声

働き続けたい妻の要望を叶える形で、生後6か月から育児休職を5か月間取得しました。ワンオペ育児を経験して、本当の父親となれたと感じます。取得しなければ、子供の食事、検診について考えることはあり得ませんでした。今でも互いに信頼をもって、育児、家事を分担することができています。5か月は人生100年の中のわずか0.5%のため、一度、自分自身を見つめ直す意味でも本当に取得して良かったと実感しています。(30代社員)

■□■ 2. 最新情報



《お知らせ》

【厚生労働省】

(1)「テレワークセミナー&相談会(『半休+半テレ』で誰でもテレワーク!)」について→厚生労働省は、今般の新型コロナウイルス感染症対策のため、全国的にテレワーク導入のニーズが高まる中、関西圏のテレワーク導入推進を図るため、大阪府に「大阪テレワーク相談センター」を開設しました。

大阪テレワーク相談センターでは、テレワークを活用した働き方を検討している企業や、すでにテレワークを導入している企業に、課題解決のためのヒントを少しでも多く提供できるよう、大阪労働局、大阪府商工労働部、(一社)日本テレワーク協会の協力のもと、3月12日(金)に「テレワークセミナー&相談会」を、オンライン形式で開催します(申し込み締め切り:3月9日(火))。 ※締切が迫っていますので早目のお申し込みを!

セミナー終了後には、労務管理面を中心に、企業が抱える具体的な課題について、セミナー講師が直接アドバイスする「オンライン相談会」を実施します。

ぜひ御参加ください。【事前申込制・参加無料】

(開催日時)

第1部 令和3年3月12日(金) 13:00~14:00 (12:45 から接続可能)

第2部 令和3年3月12日(金) 16:00~17:00 (15:45 から接続可能)

※第1部と第2部の内容は同じです。

(研修概要)

■ オンラインセミナー

「いまさら聞けないテレワークの常識 ～労務管理の悩み解消～」

○『半休+半テレ』誰でもできるテレワークでの3つのメリットを紹介します。

講師：社会保険労務士 武田かおり

■ オンラインによる相談会

相談員：特定社会保険労務士 中島康之

相談員：社会保険労務士 武田かおり

○テレワークがしにくい部署との不公平感、労働者の自律、費用負担（水道光熱費）、通勤交通費などについて、御相談できます。

【申し込み方法など詳細はこちら】 <https://otwc-teleworkseminar.peatix.com/>

【お問い合わせ先】 大阪テレワーク相談センター（担当：武田、中島）

電話：06-6345-3772

メール：osaka-telework@nsr-j.com

ホームページ：<http://www.nsr-j.com/osaka-telework/>

※「大阪テレワーク相談センター」では、電話、メール、オンラインにてテレワーク導入に関する情報提供/相談サービス等を行っております。【期間：3月31日まで】

(2)「厚生労働省イクメンプロジェクト」について

→男性の育児休業取得を促進する「厚生労働省イクメンプロジェクト」において、若手社員や大学生等に見てもらいたい動画「新米パパ、育児休業取りました」をイクメンプロジェクトサイト内で公開しています。男性の育休取得体験談や育休取得のポイント等を学ぶことが出来る動画となっています。企業内の研修等でも活用できますので、ぜひ御覧ください。

<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/company/training/#movie>

《地方公共団体の動き》

【福島県】

(1) 福島県ワーク・ライフ・バランス大賞について

→県では、平成17年度から本県独自の制度として、子育てしやすい職場環境づくり、仕事と家庭の両立支援、男女共同参画等に積極的に取り組んでいる企業を認証する「福島県次世代育成支援企業認証制度」を実施しています。認証を取得している企業のうち、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」に関して取組が特に優れた企業に対して表彰を行っています。令和2年度受賞企業について、2021年1月28日に表彰式を行いました。

・福島県ワーク・ライフ・バランス大賞：住友ゴム工業株式会社白河工場（製造業、白河市）

・福島県ワーク・ライフ・バランス先進的取組大賞：社会福祉法人心愛会（医療・福祉、郡山市）

・福島県ワーク・ライフ・バランス男女共同参画大賞：株式会社クレハ生産・技術本部いわき事業所（製造業、いわき市）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32011c/wlb-taisyuu.html>

（２）働く女性のハンドブック（第６版）を作成しました！

→女性が働く上で出てくる、さまざまな疑問・・・「働く女性のハンドブック」では、働く上で知っておきたいこと、子育てや介護に役立つ情報や活用できる制度など、様々な情報を掲載しています。ぜひ御活用ください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32011c/woman-handbook.html>

（３）令和２年度版労働ハンドブックを作成しました！

→福島県では、働く前に知っておきたい労働関係法令などの基礎知識やビジネスマナーについて、理解を深めてもらうために、就職を控えた高校生や若者向けの「労働ハンドブック」を作成しました。ぜひ御活用ください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32011c/roudouhandbook.html>

【栃木県】下野市

下野市ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定制度

→働く人やその周囲の人々のワーク・ライフ・バランスの実現のため、職場環境整備と男女共同参画推進に積極的に取り組んでいる事業所等を下野市ワーク・ライフ・バランス推進事業所として認定します。認定対象、認定基準等御確認の上、申請書類を市民協働推進課まで御提出ください。

・令和３年度新規認定申請受付期間：2021年３月１日（月）から同年４月３０日（金）まで

<https://www.city.shimotsuke.lg.jp/0813/info-0000006011-0.html>

【埼玉県】

令和２年度埼玉県労働セミナー（３月動画配信：羽生市共催）

→働き方改革の進展に伴い、近年、ワーク・ライフ・バランスへの関心も高くなっています。ワーク・ライフ・バランスを実現させることにより、働く方の心身の健康が向上するだけでなく、仕事への意欲や能率が向上するなど、企業や社会に大きなメリットが期待されます。本セミナーでは、現在の労働環境とその課題、より良い職場環境づくりのために役立つ知識や仕事と家庭を両立するポイントなどを、専門家が事例を交えてわかりやすく解説します。※本セミナーはYouTubeを利用したオンラインでの動画配信となります。

・配信期間：2021年３月５日（金）～３月１９日（金）※配信開始時間は３月５日（金）13時からを予定（配信時間：約30分）

・内容：「ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて～誰もがいきいきと働ける職場づくり～」

- ・講師：社会保険労務士 佐藤義哲 氏
- ・申込み方法：電子申請にて受け付けています。
- ・申込み期限：3月16日（火）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0809/202103dougahanyuu.html>

【東京都】

令和2年度女性活躍推進事業「働くあなたのスキルアップセミナー」

→働く女性の就業意欲やさらなるキャリアアップ、自分らしい将来のために、「働くあなたのスキルアップセミナー」のオンデマンド配信を行います。ワークとライフが「自宅」という同一空間内で行われるテレワーク。心身の健康を保ちながら仕事の生産性を高めていくために、石倉さん流の必要なタイムマネジメントや働き方のコツ、テレワークのための仕事環境（空間）の整え方等、テレワークでの自分らしい働き方について、ヒントをお伝えしていきます。

- ・講師：株式会社キャスター 取締役 COO 石倉秀明 氏
- ・モデレータ：株式会社ワーク・ライフバランス パートナーコンサルタント 大塚万紀子 氏

<http://www1.tokyo-womens-plaza.metro.tokyo.jp/seminar/tabid/400/Default.aspx>

【静岡県】袋井市

令和2年度男女共同参画ワークライフバランスセミナー

→仕事と家庭を両立させたい！！けど難しい。それぞれの家庭に合ったワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について笑いを交えながら考え、仕事も家庭も諦めない充実した人生を送るためのヒントをみつけませんか？ぜひお子さんを連れて御夫婦で参加ください。

- ・日時：2021年3月20日（土）13:30～15:00
- ・場所：オンライン（Zoom Webinar 使用）、メロープラザ 多機能ホール
- ・講師：東京大学大学院総合文化研究科教授 瀬地山角 氏
- ・定員：オンライン 最大500人
メロープラザ 50人（先着順）
- ・参加費：無料
- ・参加方法：参加希望の方は、電話、ファクス、メールにてお申し込みください。

<https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/kurashi/oshirase/1611910960719.html>

【三重県】

令和2年度「みえの働き方改革推進企業」三重県知事表彰が決定しました

→この度、令和2年度「みえの働き方改革推進企業」に登録した57法人の中から、三重県知事表彰選考委員会による書面審査を経て、4法人を知事表彰企業に決定しました。

- ・ベストプラクティス賞：日本土木工業株式会社
- ・グッドプラクティス賞：万協製薬株式会社、株式会社エフテック亀山事業所
- ・奨励賞：株式会社四日市事務機センター

<https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0030700403.htm>

【滋賀県】

「仕事と育児の両立を応援します！」（リーフレット）

→このパンフレットは、働きながら子育てを行う労働者の仕事と育児の両立を支援することを目的に、関係法令や各種支援のポイントを紹介しています。出産を控えている働く女性をはじめ、育児をしながら働き続けていこうとする労働者の皆さんの御参考になれば幸いです。（2021年1月発行）

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/shigoto/17815.html>

【編集後記】

コロナ禍で生活も働き方も大きな影響を受けた2020年が終わり、早2か月が経ちましたが、活動自粛の日々が続いています。株式会社 Waris が女性を対象に実施したアンケート調査によると、逆風の中ワーク・ライフ・バランス改善が押し進められる等「プラスの影響」があったとの回答が91%を占めた一方、マイナスの変化の内容としては、「会社でのコミュニケーションが減った」（48%）等が挙げられたとのこと。また、「プラスの影響」「マイナスの影響」共に、リモートワークが大きく影響しているという結果となり、良好なワーク・ライフ・バランスを生み出すリモートワークは、コロナ禍終息後も継続を望まれることが予想され、課題となっているコミュニケーションのあり方を改善しながら取り入れていくことで、より良い働き方へとつなげられるのではないかと結論づけています。リモートワークを継続する中で、コミュニケーションの活性化をはかるための一歩として、例えば、必要な時に顔を見て気軽に相談できるオンラインツールを取り入れてみる等、新たな工夫をしてみたいかがででしょうか。

「コロナ禍における女性の働き方アンケート」（株式会社 Waris / 2021年2月）

<https://waris.co.jp/17097.html>

このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。
このまま御返信いただいてもお答えできませんので御了承ください。

配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/tetsuzuki.html>

バックナンバーはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府「仕事と生活の調和」推進サイトはこちらから
<http://www.cao.go.jp/wlb/>